

いのこしクラブ

平成 27 年 6 月
老人保健施設いのこし
名古屋市名東区猪子石原1丁目1501番地

～6月といえば～

昨年よりも遅くなるようですが、今年も梅雨の時期がやってまいりました。今回は梅雨の語源や由来についてお話します。

梅雨は、中国から「梅雨(ばいう)」として伝わり、江戸時代頃より「つゆ」と呼ばれるようになりました。「日本歳時記」には、「此の月淫雨ふるこれを梅雨(つゆ)と名づく」とあります。中国では、黴(かび)の生えやすい時期の雨という意味で、元々「黴雨(ばいう)」と呼ばれていましたが、カビでは語感が悪いため、同じ「ばい」で季節に合った「梅」の字を使い「梅雨」になったとする説があります。その他にも、「梅の熟す時期の雨」という意味で、元々「梅雨」と呼ばれていたとする説があり、日本で「つゆ」と呼ばれるようになった由来は、「露(つゆ)」からと考えられていますが、梅の実が熟し潰れる時期であることから、「潰ゆ(つゆ)」と関連付ける説もあり、梅雨の語源は未詳部分が多いとされています。

梅雨に入ると食べ物なども腐りやすくなるので食中毒が発生しやすくなります。皆さんも健康管理には十分注意してください。

～6月の誕生日者紹介～

●2階の方

堀川 ヒデノ様	97歳	高木 曾祢子様	91歳
岡田 すゞ子様	90歳	臼井 安子様	86歳

●3階の方

柴田 博子様	93歳	安藤 幸子様	89歳
--------	-----	--------	-----

～6月の行事予定～

6月10日(水)	月間レク
6月24日(水)	誕生日会&ハンドベル

～ハンドベル部～

昨年12月クリスマス会の公演で皆様からあたたかい拍手と声援を頂いた事がおおきな励みとなりハンドベル部の結成となりました。

今月24日の公演にあたっては曲選び、楽譜作り、練習と衣装に至るまで手探りながら全員が一丸となって準備しています。本番に向って、一生懸命練習していますのでご期待ください。

老健ケア
ナース
栄養士 より10名



猪子石ケア一通信

先日いのこしで介護体験を経験された小学6年生の方の卒業作文を読ませていただきました。

介護の現場で働く私たちに介護の役割、対応、姿勢、やりがい等深く考える契機になりました。多くの方に読んでいただきたく、また、励みになるように思いここに紹介させていただきます。

H27.5.27.

老人保健施設いのこし介護主任 神戸智貴

将来は介護士に

坂口 康

「介護士の体験をしてみたいです」
友達のお母さんの言ったその一言で、私の将来の夢は決まりました。私の小さいころの夢は、このころと変わっていません。今は違います。介護士になりたいです。
私は介護士の体験をした時、自分の力をかめたい仕事と、くつ下をはき替える仕事をしました。その時に世話をしたお母さんに、「ありがとう」と言われ、とてもうれしくなりました。
介護士の仕事は、笑顔、元氣、勇気をあたえてくれます。介護する方も、される方も笑顔にしていくのが素晴らしい仕事です。
介護士にはお母さんには何にでもすぐ判断力やきり判断力、お母さんと話す時に分かりやすく、お母さんの心配させないようにたくさん話しかけ、お母さんの命を守り、お母さんの幸せを願う時や、お母さんの命を失った時の体力、この三つのこと大切だと思います。
中学生になら、たら勉強することばかり、介護士になるために勉強だと思ふ。「判断力」「会話力」「体力」を少しずつ身に付けていきたいと思ふです。

私たちの仕事についてこんなに深く考え、また自分も目指すと思われているなんて！日々の仕事をもっとがんばろうと思いました。 内藤 直

「介護する方もされる方も笑顔にしてくれる素晴らしい仕事」を一度初心に戻って仕事に励みます。 坂口 康